

Admission Policy

京都ノートルダム女子大学 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

京都ノートルダム女子大学は、学問の街である京都の地に「Virtus et Scientia (徳と知)」を建学の精神に掲げ、「深く専門の学芸を教授研究するとともに、カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成して我が国文化の推進に寄与すること」を目的とし高い意識のもと1961年に創立された女子大学です。この目的に基づき、本学を卒業するとき身に付けておくべき6つの力を掲げ、学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) を定めています。これらの方針のもと、主体的に学び、研究を深める意欲のある入学者を受け入れるために、次のとおり全学および各学部学科において入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー) を設定しています。

京都ノートルダム女子大学3つの方針

全学共通部分

(学則第1条…「深く専門の学芸を教授研究」「カトリック精神および日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成」)

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受け入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育 DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいた「常識」と「良識」を有している。 ・自立した女性として人生を切り開くための知識を有している。	【編成方針】 ・キリスト教精神に基づいた「常識」と「良識」を有し、自立した女性として人生を切り開くための知識を身につけるためのベースとなる科目を「カトリック教育」に配置する。 ・自立した女性として人生を切り開くための知識を身につける科目を「自己の形成」に配置する。 【実施方針】 ・キリスト教精神の基礎を学ぶ科目を全学必修として行い、多角的な視野からキリスト教精神を学ぶ科目を選択必修として行う。 ・アクティブラーニングを積極的に取り入れ、主体的に学ぶ内容の授業を行う。	【期待する能力】 本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。 【選考方法】 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、調査書、面接
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解 DP2. 知識・理解力	・人間やその生活、社会、自然などについて幅広い知識を身につけている。 ・自身の知識を基に、新しい事柄を理解する力を身につけている。	【編成方針】 ・幅広い知識と教養、新しい事柄を理解する力を身につけられる科目を配置する。 ・多様な教養科目群に「人間と文化」「人間と社会」「人間と自然」「人間と情報」「教育の基礎」という区分を設けて科目を配置する。 【実施方針】 ・生活、社会、自然、情報、教育等に関する幅広い知識と教養を身につけるとともに、理解を深化させることを目指し、自己の問題として認識できるような授業を展開する。	【期待する能力】 高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識と理解の土台がある。 【選考方法】 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート、学力試験、口頭試問、資格検定
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能 DP3. 言語力	・日本語の正確なコミュニケーションスキル及び運用能力を身につけている。 ・母語以外の外国語でのコミュニケーションスキルを有している。	【編成の方針】 ・研究論文執筆をならんだアカデミックライティング科目を「自己の形成」に配置する。 ・段階的に英語および他の言語について学べる科目を「外国語」に配置する。 【実施の方針】 ・レベルや目的別に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。	【期待する能力】 高等学校卒業程度の国語力を持ち、英語などの外国語で読み、書き、聞く、話す意欲がある。 【選考方法】 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問、資格検定、英作文
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	思考・解決力 DP4. 思考・解決力	・適切な情報処理ができる ・主体的に批判的・論理的な思考を展開できる。 ・課題に対し、問題解決に向かう提案ができる。	【編成の方針】 ・適切な情報処理のため、その考え方の基礎から応用、発展までの科目を「人間と情報」に配置する。 ・主体的に批判的・論理的な思考を展開でき、課題に対し問題解決に向かう提案ができる力を身につけられる科目を配置する。 【実施の方針】 ・情報処理の基礎能力を身につけるため科目を全学必修とし、実践的に学んだうえで、これからの社会に必要な情報に関する知識などを身につける教育を行う。 ・主体的に批判的・論理的な思考を展開でき、課題に対し問題解決に向かう提案ができる授業を行う。	【期待する能力】 課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもって、自らの考えを柔軟に評価・修正できる。 【選考方法】 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性 DP5. 共生・協働する力	・他者に対し適切な理解と対話をするための力を身につけている。 ・他者と共生・協働するための素養を身につけている	【編成の方針】 ・「自己の形成」「カトリック教育」を中心に、他者との関係の中で自立した女性として生きていく態度を身につけるための科目を配置する。 【実施の方針】 ・自己の形成、キャリア教育など、アクティブラーニングによる教育を行う。 ・他者を尊重し、対話などコミュニケーションを重視した参加型の授業を行う。	【期待する能力】 人と協力してともに問題解決しようとする意欲をもち、集団での活動経験 (部活動、課外活動、ボランティアなど) を活かし、様々な学習に能動的に参加できる。 【選考方法】 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、調査書、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学修経験と DP6. 創造・発信力	・自らの学修成果をまとめ、発信することができる。	【編成の方針】 ・自らの学修成果をまとめ、発信することができるための基礎を身につける科目を配置する。 【実施の方針】 ・アクティブラーニングを取り入れた科目において、主体的に取り組む授業を行う。	【期待する能力】 自らが学習したことを他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。 【選考方法】 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問